

医学研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	北陸地区小児期発症2型糖尿病の診療実態について多施設共同研究
研究機関名	金沢医科大学
研究責任者	金沢医科大学 小児科学 講師 伊藤 順庸
研究期間	倫理審査委員会承認後 ～ 2018年3月30日
対象者	当院小児科に通院中のT2DM、もしくは非T1DM患者さんで、発症が15歳未満かつ最終診察日が2010年1月1日～2017年12月31日までの患者さんが対象です。
当該研究の意義・目的	<p>小児期発症2型糖尿病（以下T2DMと略）の発症頻度は児童数10万人・年あたり小学生では0.5～1.0人、中学生では4～6人とされ、北陸地区では市レベルでも小中学生の年間新規症例数は1例前後です。</p> <p>また小児期T2DM患者さんは、肥満はもとより、多様な家庭環境（母子家庭など）や不登校など治療・生活指導に直結するような生活事情を抱えるケースが少なくありません。小児期T2DMの原則的な治療ガイドラインはあるものの上記背景要因もあり、治療中断等主治医は対応に難渋しているのが現状です。</p> <p>一方、小児期発症T1DMに比して、小児期T2DMの合併症・長期予後は著しく不良とされ、小児期からの適切な介入が極めて重要です。</p> <p>本研究は多施設共同で北陸地区の小児期T2DM患者の診療状況を後方視的に集約し、診断経緯・通院状況・治療内容・疾患コントロール・合併症について解析するとともに、長期に及ぶ小児期T2DM診療が抱える課題について明らかにし、施設間で情報共有することを目的としています。</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>本研究は富山県立中央病院との共同研究で行います。当院では、対象者に対して通常診療で行った検査データ等のデータを、診療録・電子カルテ等から収集し、調査票に記入し、研究代表機関である富山県立中央病院に送付します。データ解析は富山県立中央病院で行います。</p> <p>収集する項目は、性別、型診断、診断時年齢、診断契機、初期治療、検査データ等です。</p>
外部への資料・情報の提供	<p>本研究で収集したデータは、研究代表機関へ提供します。病気の性別、型診断、診断時年齢、診断契機、初期治療、検査データ等、診療録情報を元に調査させていただき解析に利用させていただきます。新たな検査・治療は一切発生いたしません。情報は郵送又は電子的データ送信により提供します。提供する際、各患者さんに識別番号を割り付けて匿名化を行い、情報等の取扱いにはこの識別番号を用います。患者さんとの番号を結び付ける対応表は、当院内で厳重に保管し、他施設へは提供しません。</p>
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。

研究代表施設・ 代表者	研究代表機関：富山県立中央病院 小児科部長 五十嵐 登
研究組織	<p>【参加施設】 分担研究者</p> <p>金沢大学附属病院小児科 岡島道子 金沢医科大学小児科 伊藤順庸 福井大学附属病院小児科 畑郁江 国立金沢病院小児科 小幡美智 富山大学附属病院小児科 寺下新太郎 笠原小児科医院 笠原善仁</p>
問合せ先	<p>その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。</p> <p>金沢医科大学 小児科学 講師 伊藤 順庸 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-218-8133</p>

作成日： 2017年12月20日